

「〇〇。。」

☆ こどもはぐくみ通信 Webコラム (令和4年7月号) ☆

★ 「児童館と学童育成クラブ」 上中島児童館 (釜石市児童館 館長 佐藤 悦男) ★

☆

「児童館と学童育成クラブは、どう違うのですか。」と聞かれることがあります。『児童館ガイドライン』によると、その目的として、次のように書かれています。

「児童館は、18歳未満のすべての子どもを対象とし、地域における遊び及び生活の援助と子育て支援を行い、子どもの心身を育成し情操をゆたかにすることを目的とする施設である。」

また、学童育成クラブについては、「主に日中保護者のいない小学生児童に対して、授業の終了後に適切な遊びや生活の場を与えて児童の健全な育成を図る施設である。」

このように、一番の違いはその対象者ですが、社会福祉協議会が運営する児童館および学童では、児童館であっても学童育成クラブであっても、下記の3つを大切に運営しています。

### ①高学年の子は、低学年の子に思いやりの気持ちで接するように、低学年の子は、高学年の子をお手本にした行動や望ましい言葉遣いが身に付くことを目指す

身近に手本となる上級生の子がいることが、児童館や学童育成クラブの一番のよさだと思います。1年生の子が放課後に学童育成クラブに来ると、上級生の子と同じように、ランドセルから宿題のプリントを出して取り組み始めます。また、遊んだ後の片付けや掃除のお手伝いも、上級生と一緒に頑張っています。

### ②「話は最後までしっかり聞くこと」や「時間を守ること」などの集団生活を送る上で必要な基本的ルールの指導をする

施設の文房具等の物品を借りるときには「先生、〇〇を貸してください。」と断り、返す時には「ありがとうございました。」とお礼を述べるといったような礼儀もきちんと指導されています。

### ③保護者や地域の方々と良好な関係を築く

保護者の方々は保護者会の役員を快く引き受けてくださいますし、コロナの感染予防対策として、検温やマスクの準備等にもご協力いただいております。また、地域の方々には、『見守り隊』として、下校時刻に学区内の横断歩道に立って、子どもたちの安全を見守っていただいております。

## 上中島児童館はこんなところ

上中島児童館は昭和・平成・令和と、3つの時代にまたがって開館して45年になります。

新日鐵釜石製鉄の合理化に伴って人口減少と少子化が急激に進む中で、母親の就労率が高まり、「保護者が安心して働ける児童館・子育てを支援できる児童館」を目指して開所しました。

近隣には東日本大震災後に建てられた上中島復興住宅があり、長期休みには、ラジオ体操やみづき団子作りなどの活動を通して、住宅の方々、地域の方々と交流を深めています。

また、釜石地区更生保護女性の会のみなさんと「ふれあい雑巾縫い」で交流したり、ゲームを楽しんだりと様々な活動をしてきました。

コロナ禍の今、活動の制約は色々ありますが、地域との結びつきを深めながら、子どもの健全育成を目指していきたいと思っております。

